

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実	施策主管課	都市政策課	課長名	澤田 利徳
政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています						
施策No	02	施策名	公共交通の確保	関係課名	観光課、東和地域振興課		
施策の目指す姿	公共交通が利用しやすくなっています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス事業は、経費に比して利用者が著しく少ない状況が続いています。</li> <li>・市街地循環バス(ふくろう号)は、利便性の良さから増便が求められています。</li> <li>・市内JR駅周辺の駐車場が不足しています。</li> <li>・いわて花巻空港を発着する国内線の利用は概ね順調ですが、冬季利用率の落ち込みが著しい状況にあります。また、訪日外国人観光客にとって便利な発着便が少ない状況にあります。</li> </ul>							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県及び岩手県空港利用促進協議会などと連携し、県内及び国内外就航都市での利用促進PRの強化、空路を利用した旅行商品の造成につながる働きかけを行う。</li> <li>・各総合支所と連携しながら幹線路線バスや予約応答型乗合交通の利用促進の取組みを継続して行うとともに、花巻市地域公共交通網形成計画に基づき計画的に対策を実施し地元へのPRを積極的に行う。</li> </ul>
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大改便、札幌便、名古屋便が複数便化され、国際線は2路線(台北線、上海線)が就航するなど、花巻空港の利便性が向上した。</li> <li>・市街地循環バスや予約応答型乗合交通などのコミュニティバスの運行や、不採算民間路線バスへの補助、大迫バスターミナルの閉鎖に伴う待合所の整備等を行い、利用しやすい公共交通サービスの提供に努めた。また、民間路線バスの一部が廃止となった西南地域の生活交通を確保するため、効率的で利便性の高い予約応答型乗合交通を導入し、日常生活の交通手段の確保を図った。</li> <li>・岩手県及び岩手県空港利用促進協議会が実施する旅行エージェント訪問に参加し、旅行商品造成を促した。</li> </ul>

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 利便性の高い公共交通の確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線バス路線、観光バス路線の利用促進(周知広報)</li> <li>・市街地循環バスの利用促進(周知広報)</li> <li>・予約応答型乗合交通の拡充及び利用促進</li> </ul>
(2) 航空便の利用促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空便の増便に向けた関係機関への要望活動</li> <li>・いわて花巻空港利用促進のためのPR</li> <li>・岩手県が行う定期便及びチャーター便等の誘致促進事業への協力</li> <li>・関係機関が実施した国内(名古屋、福岡)、国外(台湾)でのPRキャラバンに参加し、旅行エージェントへの商品造成を促した。</li> </ul>

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
公共バス(市運営、民間運営)の利便性に満足している市民の割合	市民の身近な公共交通であるバス(民間運営、市運営)の利便性満足度を示す指標	市民アンケート測定「普段の生活の中で利用する下記項目の基盤整備状況に満足していますか?」公共バス(民間路線バス、ふくろう号、デマンドタクシー等)(1)満足、(2)どちらかといえば満足、(3)どちらかといえば不満、(4)どちらかといえば不満、(5)不満、(1)(2)選択数をカウントし、満足度を測定。分からない、無回答はバス利用者・利用希望者とみなさず分母に含めない。	%	目標値		43.00	43.00	43.00		
				実績値		44.70	42.70	42.20		
花巻空港年間利用者数	空港(航空機)の利用状況を示す指標(平成28年度以降、国際定期チャーター便運航が予定されておらず、国際定期チャーター便が運航されなかった直近の平成25年度利用者数を成行値とする)	岩手県空港課(岩手県空港利用促進協議会)が集計し発表するもの。(国際定期便4路線と国内・国際チャーター便の利用者数)	万人	目標値		42.30	43.10	43.10		
				実績値		44.10	48.20	48.50		
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「公共バス（市運営、民間運営）の利便性に満足している市民の割合」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地循環バスや予約応答型乗合交通などのコミュニティバスの運行や不採算民間バスへの補助、大迫バスターミナルの閉鎖に伴う待合所の整備等を行い、利用しやすい公共交通サービスの提供に努めた結果、大迫地域の満足度数について、ほぼ横ばいとなったが、今後は、更なる利用促進につながるよう検討する。</li> </ul> <p>成果指標「花巻空港年間利用者数」・・・【達成度a】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県空港利用促進協議会や花巻空港利用促進協議会の構成員である岩手県関係機関や県・市の商工団体、議会、空港関連団体、航空会社との連携により、利用促進活動を一体的に行うことで、国内・国際便ともに定期便化し、花巻空港の利用促進、利便性向上につながった。</li> </ul>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

<p>市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか</p> <p>・（公共バス支援事業）バス事業は、必要経費に比して利用者が著しく少ない状況にあり、赤字補てんのため多額の補助金を交付しているが、少しでも赤字解消できるよう、手法を変えるなど利用促進につながるよう調査・検討をする。</p>
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>・（公共交通確保対策事業）交通空白地をカバーし路線バスに影響を及ぼさない交通手段を検討するための調査を行う。</p> <p>・（都市機能改善事業）新花巻駅無料駐車場を順次有料化整備をするとともに、料金体系の見直しを検討していく。</p> <p>・（空港利用促進事業）定期便路線数の安定的な維持及び拡充のためには、インバウンド（県外からの観光客等）の利用促進のみならず、アウトバウンド（県外への観光客等）の利用促進に取り組む必要があることから、市民利用を促進するため、県及び岩手県空港利用促進協議会の利用促進事業を市ホームページ等により周知する。</p>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <p>・複数の路線等が集結する大規模な結節ポイントとなるイトーヨーカ堂について、快適で安全な待合空間の整備について調査・設計業務を行う。</p> <p>・新花巻駅駐車場拡張工事については、施設の利用状況・見込み・費用対効果などを踏まえ適切な時期に整備する必要がある。</p>

### 5 施策の総合的な評価

<p>課題</p> <p>・民間路線バスの利用者は増加しておらず、路線の維持のためにも更なる利用促進を講じる必要がある。</p> <p>・新花巻駅有料駐車場の平成31年度利用台数は、前年度とはほぼ同程度で推移していたが、年度末からは新型コロナウイルス感染症の影響から減少傾向が顕著であり、当面はこの状況が続くものと見込まれる。</p> <p>・平成31年度は関係機関との連携したPR活動を行い、国内外の定期便がほぼ増便という一定程度の成果があったが、今後、国際便については、海外における新型コロナウイルス感染症の影響を見極めたうえで、発着便の再開に向けた取組みの再開時期について、関係機関・団体等と協議し、見極める必要がある。</p>
<p>今後の方向性</p> <p>・路線バスの利用者が減少しており、引き続き利用促進を図る必要があるとともに、予約応答型乗合交通の周知により登録者数の増加と利用促進を図る必要がある。また、予約応答型乗合交通の登録者にアンケートを実施しており、その内容に基づき利用者にとって利便性の高い公共交通サービスを提供できるよう改善していく。</p> <p>・新花巻駅有料駐車場の拡張及び料金体系の見直しについては、現在の駐車場を効率的に利活用することを図りつつ、利用状況の推移を見極めながら適正な時期を検討していく。</p> <p>・関係機関と連携したPR活動を引き続き行い、旅行商品造成に取り組むが、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、まずは国内便の再開に向け、関係者と一体的な取組みを行う。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	<b>空港利用促進事業費</b>	観光	間接・少数	間接・補完	B
	岩手県空港利用促進協議会等への負担及び補助、関係機関と連携した利用促進活動の実施（航空会社、国等への要望活動13回、関係団体との協議、検討会11回）				
020	<b>公共交通確保対策事業費</b>	都市政策	一致	直結	B
	市街地循環バス・大迫花巻連絡バス・中部病院連絡バス・予約応答型乗合交通運行補助（市街地循環バス利用者数：85,824人、予約応答型乗合交通利用者数：4,007人）				
030	<b>公共バス支援事業費</b>	東地(建設)	間接・少数	間接・補完	B
	経営改善事業補助金交付（1,500千円）、出資金の増資（55,000千円）				
040	<b>都市施設機能改善事業費</b>	都市政策	間接・少数	間接・補完	-
	新花巻駅西第1・西第2駐車場の照明改修及び東・西第1・西第2駐車場のSuica、クレジットカードによる料金支払方法の拡大、駐車場全体の適正管理（新規：7基、照度改善：6基）				